

OB会 だより

各地の四季
シリーズ・No.3



冬の行田： 花手水を楽しみながら

冷たい風に吹かれながら「行田花手水 week」を楽しみました。神社や商店・民家の軒先に色とりどりの花が飾られ、揺らめく姿が美しい。眺めているだけで癒され、毎月多くの方が訪れる。行田市のシンボル「忍城」はおすすめスポット。そのすぐ隣にあるのが我が行田協立診療所だ。もちろん診療所も花手水に参加。今月は犬と一緒に“ココロン”が花の中に登場。月に 1 度「希望の光」をテーマに幻想的な光で楽しむライトアップもおすすめです。医療生協さいたまのキャラクター“ココロン”見つかりましたか？ (栗原和子)





私の年賀状

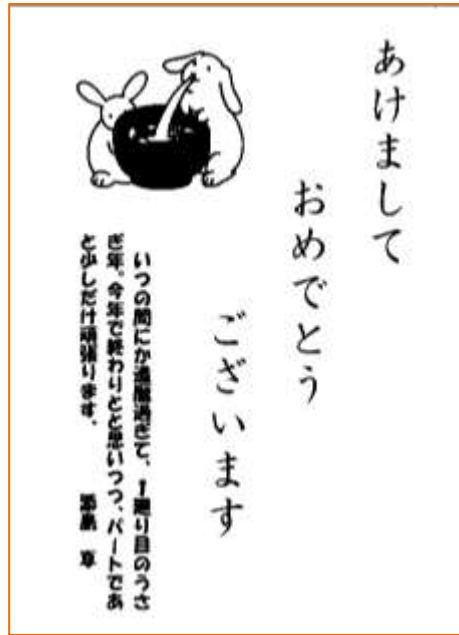
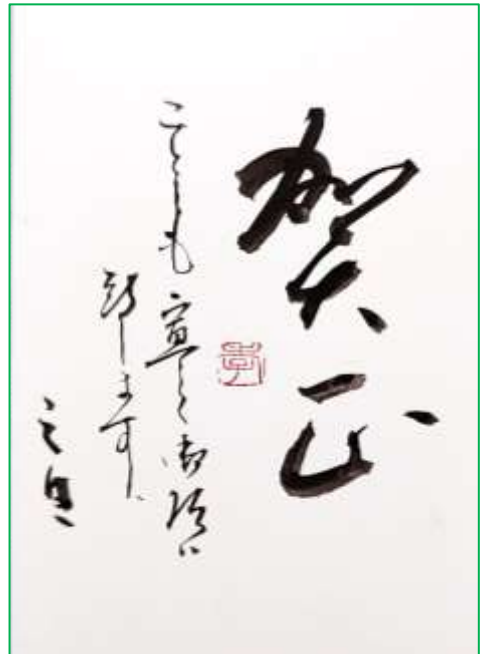
私は卯年 ピョンと跳ねて大きく飛躍を！

田添紀江



元気な一年にしていきましょう

富田孝博会長



還暦過ぎて、1回り目のうさぎ年です。 藤島 亨



「小さな小さな一枚の西東こういち美術展」45周年です 斎藤幸一



山口昭子



スケッチブックの一枚から 小山千里



島田喜久江



新聞ちぎり絵 松倉徳子



3匹の猫に追いかけられた毎日です 仲村敬子



長野県黒姫で四季折々 自然の変化を楽しんでいます。ペンション「ヴォルケ」 佐々木芳子



深田澄子



新入会員紹介



みんなで
手をつなごう！

クサカ ヤスコ
日下 恭子さん

OB会の皆様の今までのご活躍に比べ、大した事もできずただ協同病院が好きで頑張ってきただけの私です。
OB会に参加させていただくのは心苦しいのですが、どうぞよろしく願いいたします。

福島 研さん

協同病院に在職中です。
老体にムチ打って、来年くらいまで頑張ります。

田中 郁子さん

元気で頑張っています。
もうすぐ 一線から退きます。

松川 朋子さん

退職して今感じるのは、よく働いたなあということ。
これからは生活者としての日々に軸足を移し、虚心坦懐を心がけていきたいと思えます。先輩方とつながれることが楽しみです。よろしくお願い致します。

埼玉民医連退職者の会

第 33 回総会のご案内

日時：2023年2月19日（日） 10時30分～12時

会場：医療生協さいたま 本部 1階会議室

みんなでお会いしましょう。楽しみにしています。

私の近況で一す

* 仲 隆子さん

朝、近所の公園でラジオ体操をやり、そのまま歩きます。おしゃべりと最後に“富士山”をながめて今日も「いい日でネ」と1時間ほどです。体操の仲間に誘われて、最近地域の「五行歌会」に参加しています。 楽しい時間が増えました。



* 高橋 典子さん

ご無沙汰しています。いつも投稿しようとして書き始めているのですが、途中で止まってしまい送らずじまいになっていました。

みなさん「お花の種」を見事に咲かせていますね。私は種をいただいた時に「ずっとご無沙汰しているから、花が咲いたら投稿しよう」と思っていました。しかし芽は直ぐに出たのですが、葉と茎はぐんぐん増えるのに青い朝顔はとうとう咲かず残念。一緒に蒔いた別の朝顔は、今も元気に咲いているのですが・・・

寒くなってきましたので、体調を崩さないようお気を付けください。：

* 金井 東望子さん

久しぶりに“さようなら原発集会”に行ってきました。一人で何度か参加していましたが、駅が変わった原宿駅も見たい思いもあり、原宿コースを最後までデモ行進に参加。終点は地下鉄銀座線“外苑前駅”だ。こりゃー渋谷駅は3階だ、様変わりした渋谷では迷ってしまう、白髪老人には無理だと戻ること。何ということはない。約20分で原宿駅に着きました。2～3kmはまだ大丈夫と安心して帰路につきました。

* 山形 文子さん

鹿野さんの報告通りコロナ対応で国民も医療機関も振り回されてきました。

今、第8波を迎え発熱外来、コロナワクチン、インフルエンザワクチンと忙しい毎日を送っています。

70歳にして孫が生まれ、私の父と同じ名前がつけられて 第2の“山形陽”あらわるです。

* 小山 千里さん

以前OB会で行った清津峡に出かけました。紅葉は少し早かったけれど、以前より整備されトンネルの入り口付近に足湯があったり、トンネルの中にもライトがついて写真映えがするようになっていました。

じゃらんで予約し、ホテルが40%割で安く済むと思い喜んで受付しました。当日から全国割がつかえたり、更に新潟県から一人3000円のクーポンも出たので、それも使い、ホテルでドラゴンドラのチケットを買ったら、

又また割引され、支払いしたのは、入湯税の一人150円のみでした。

気分良く帰宅して来ましたが翌日からコロナに感染、病院に行ったり保健所から毎



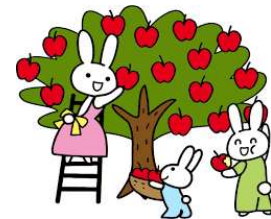
日健康観察されていまして。幸い 4 回目のワクチンも済んでいるので軽く済みました。今は元気です。5 回目のオミクロンも、予約済みです。

*石原 由紀子さん

学生の時、ユースホステルを利用して旅をしていました。九州にあったルノワルユースの同窓会を 3 年ぶりに開催しました。コロナで 2 年間お休みしていましたが「第 48 回」、そう 50 年近く続いています。今年は仙台で開催、皆はそこに旅行を重ねて集まります。私も友人と石巻、栗駒登山、金華山と旅してきました。親類より身近な仲間たちと一緒に齢を取って幸せなひと時でした。来年も又集まりたい。来年は関西です。

*阿部 テイさん

役員の皆さま いつもありがとうございます。コロナ禍の中、2 年前に亡くなった母の居た実家は、施設入所も含め 8 年ほど空家になっていましたが 10 月に取り壊すことになり、葬儀以来久しぶりに青森の実家に。70 年近くも経つ家だから惜しくもないが、親も実家もなくなると、もう帰ることもないのかなとさみしさを感じました。



*梅原 恭子さん

津軽保健生協時代の友人のリンゴ農家へ、毎年 11 月初めにリンゴの収穫手伝いに通い始めて 10 数年。コロナ禍でここ 2 年間は行けずにいたが、さて今年はそろそろと腰と眼を鍛え始めていたら「あたって」と連絡あり。(津軽では脳卒中全般を“あたる”と表現)その他の病気も見つかり、親姉妹と同じようなショックを受けている。一日一日が、かけがえのない毎日と思いを深くしています。

*中村 雅子さん

いつもOB会だより楽しく読んでいます。ありがとうございます。今年はコロナで明けコロナで終わる 1 年でした。自転車で車にぶつけれ骨折した肩も少し良くなり、先日は「戦争と青春」の映画を見てきました。



下町の空襲の中、逃げまどう姿に子どもをおぶって逃げた姉の姿が重なりました。また、きな臭い政治、戦争の道へ進まない政府を作らいとだめですね。平和が一番です。

* 岡本 泉さん

まだ仕事をしているせいか、国のコロナ政策に「?」「?」「?」だらけです。職業柄、コロナ治療薬の認可の仕方はどうにも納得しがたいものがあります。しっかりと国内での治験を積んで、利益相反をなくし、政治的な思惑抜きに科学的な評価をしてほしいと思っています。(・・・実は、私は薬剤師です。忘れられているかもしれませんが・・・)

* 浦川 恵子さん

お久しぶりです。OB会だよりが届いて、感想を書こうと思っているうちに12月も目前です。コロナ感染状況も一進一退という感じですが、少しずつ集まる機会も増えてきてますね。川診のOB会で、寺島先生をはじめ、先輩の方々の元気な様子を拝見して、良い刺激を受けました。

今回は、一度書いておこうと思っていたリディツェのことを原稿にしました。

忘れられない旅 リディツェ村のこと

2018年1月にプラハに旅をした。プラハから、地下鉄とバスで約1時間、リディツェを訪ねた。リディツェは、大戦時にナチスドイツに村ごと抹殺された所である。ナチス親衛隊が暗殺された後の報復のために、リディツェは実は暗殺とは関係のない村だったとも言われている。



リディツェを訪れると、ゆったりとした丘が広がる場所で、あるのはモニュメントと博物館だけ、犬を連れた方がゆったりと散歩をしていた。博物館には、資料や数は多くはないが遺品が展示されている。モニュメントの一つに、子供たちの群像がある。かつて自分たちが生活を営んでいた家々や学校が立っていた場所を見つめる視線が心に残るモニュメントであった。日本人が建設に関わっていたようである。

冬枯れの景色の中で訪れたリディツェ、助かった数少ない住民が平和を願う人々の力で別の場所で村を再建したという話に救われる思いで村を後にした。

初めて聞く地名と事実、思いがけずに現地を訪れる事となり、知る事とささやかでも伝えることが大事かなと5年が経って改めて思っている。



全県から看護・介護の支援を受け 医療生協の底力を感じています

老健さんとめ 前田正人

昨年、COVIDの全国的感染第7波時の7月、当施設でも一つのフロア階で一人の陽性者が確認され、その後一気に感染者が増えクラスターが発生しました。

9月に終息をむかえるまでの82日間、利用者や職員の50人近い方が陽性となり感染ピーク時には自力での施設運営が不能な状況に陥りました。

施設内大規模感染は初めての経験であったため、埼玉協同病院感染管理認定看護師に連日のように施設に来ていただき、医療現場を守るPPE（個人用防護具）の正しい使用法、感染症対策におけるゾーニングの考え方、ケア方法の変更、必要物品選定等々について指導を受けました。

また、全県看護幹部の皆さんには10事業所19人、全県介護職員の皆さんには16事業所51人の方にご支援をいただき、改めて医療生協の底力を感じました。

現在、第8波の中当施設でも感染者が出ていますが、前回の学びを活かして大きな感染拡大には至っていません。（全数把握を政府がやめたことで、実際の感染者数は不明です。死者数は過去最高値、クラスター発生高齢者施設も過去最大値と言われているようですが、発表以上の感染者数の拡大があると思われます。）

長期にわたるコロナ禍により、職員のストレスは相当なものがありますが、感染禍を乗り切るため全職員で奮闘しています。

～まちから村への連帯で、ひとりぼっちの高齢者をなくそう～

第27回埼玉高齢者大会に参加しました

山口 昭子



雨の降る中でしたが埼玉高齢者大会に夫と二人で出かけた（10月24日さいたま市民会館おおみや）。いつもなら駅に知った顔が見えるのに会場に着くまで知り合いはいなかったが会場で川島さんの顔を見てホッとした。夫が今日の講師である孫崎亨さんの話を聞きたくて参加したのです。

沖縄の歌や踊りが予定より長引き、肝心の孫崎さんの話が切られてしまったのが残念。孫崎さんの講演は、憲法 9 条とウクライナ問題だったが、いろいろなことがわかった。戦争の歴史で幣原喜重郎首相とマッカーサーとの関係、夏目漱石の話、ロシアのプーチン大統領のことなど、なかなか聞けないような話もありよかった。学習会なども少なくなった今、ロシアのウクライナ侵略がロシアの歴史と深く関わりのあることをたくさん聞いた。

最近、聞いても忘れやすいので録音をとってきたので聞き返している。午後は体力的にも無理なので午前だけの参加にした。帰り際、孫崎さんの本を買っているときにOB会の島崎さんと会い昼食を食べながら久々の話ができよかった。医療生協関係の参加者も少なかったように思い、来年はもっと元気の出る大会を期待したいと思った。

おすすめの 1 冊

漫画で伝える原爆の記録

あの日、ヒロシマで

被爆後のヒロシマを生きた少女と軍医の話

著 者 さすらいのカナブン

出版社 みらいパブリッシング

価 格 1,650 円



水野 いわ子

2022 年夏、しらすぎ会の木内恭子さんから 1 冊の本が送られてきた。普段はほとんど漫画には目が向かないが、表紙の少女にまずひきつけられた。

一話：第二次世界大戦時、広島電鉄の女性車掌（後に運転手）が被爆し負傷、その後、惨禍の広島を街を目撃する。

二話：肥田先生が主人公。広島陸軍病院の医師（28 歳）として当直の夜、戸坂村へ往診に行き 8 月 6 日原爆炸裂の瞬間に出会う。物語はその後、戸坂村で野戦病院さながらの状況で医療活動・・・

綿密な取材をもとに平和への願いをこめて描く「さすらいのカナブン」初の単行本だ。肥田先生が戸坂村で出会ったできごとが、その後の被爆者運動・医療に携わっていくことがよくわかる。みなさんにおすすめします。

OB会だより



いつも
感想・意見
ありがとう



♪ 表紙の「小川町八和田地区」は、本当に日本の原風景ですね。新潟県上越市の米山がわたしの故郷、記事にある「母についていった一本しめじ取り」私の母もキノコが好きでよくついて行きました。埼玉ではついにキノコ同好会に参加していろいろ歩きまわりました。（一本シメジは地方の方言で、本物の一本シメジは毒キノコです。ウラベニホテイシメジと思います。（小嶋美智子）

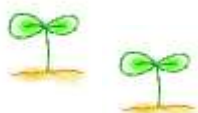
♪ 表紙の写真、山と稲、千野さんの言葉、素敵でした。川診OB会のニュース、うらやましいです。内山先生や上松瀬先生のお元気そうなお様子でうれしいです。お会いしたいですね。（山形文字子）

♪ お花の写真 よかったですね。会員が種を蒔き、咲いた花の写真が揃うのはうれしいです。日頃の活動が忙しいと話していた深田さんからも届き特にうれしかったです。表紙の写真も懐かしくホッとしました。「私の近況」もたくさんあり「〇〇さん こんなことやっているんだ。」なつかしいです。（渋谷菊男）

♪ いつも読みやすくレイアウトも変化に富み、相変わらず素晴らしい出来上がりです。「医療現場から」は、現場とOB会をつなぐ記事として、もっと短くても良いのでエピソード等継続して掲載を希望します。「OB会のひろば」の作品はどれも良いなと思いました。短歌の藤田さん、寺島先生の作品、胸に迫ってきました。私の大正琴の音色は紙面に反映させることはちょっと難しいので（？）残念です。（梅原恭子）

♪ OB会だより 152号ありがとうございました。美しい写真が盛りだくさんで癒されます。

30周年記念のお花の種、百日草はある程度成長したのですが残念！咲きませんでした。面倒見たつもりですが・・・
みなさんの写真から楽しませてもらいました。（阿部テイ）



あ と が き



多くのことがありすぎた 2022年が終わり、新しい年が明けました。少しでもよい方向にと、みんなで力を出していきましょう。

「OB会だより」手にしていつも思うのは、投稿してくださったみなさんへの感謝です。短い文章や一枚の写真、絵のなかに励まされること、学ぶこと、笑うこと、いっぱい詰まっています。このつながりこそ一番と、心が明るくなります。（k）



OB会のひろば



短歌

五行歌

心のどこかで
ほどけない結び目が・・・
その思いだけで
会えなくとも
幸せな時の流れ

巻田 幸子

寺島 萬理子
友人の不幸つづきし歳末・年初
婦人運動の先頭に立ちし友も逝きたり
われ九十六歳 一九歳で党に入り
民医連医師として働き得し しあわせ

藤田 悦子

「お正月」三文字だけの呼び名にも
思い出いっばいつまった言葉
年ごとに新年迎うる手料理も
いつもと変わらぬ献立で過ぐ
故郷のなじんだ味のえび雑煮
新年らしき気分で迎えり

川 柳

栗原 和子
財布から 二割は痛い 声がする
俺たちは お金が好き 集団よー
富田 孝博
年賀状 自ら出さず 便り待つ

俳句

宮谷 忠
年迎ふ 満天の星ほしいまま
駅を出て冬満月に従へり
落書きの残る歳月日向ぼこ
水野 ひさ子
寒灯のもるる小江戸の骨董屋
淑気満つ朝日まぶしき槇の門
がたがたと揺れる初乗り過疎のバス
令和五年 田中 チエ子
南極の氷が解けて深海魚
若者の手には銃より冬の薔薇
初日の出今ウクライナ夜明け前
戦あるな結弦の舞の初明かり
蘇る明治の悪夢令和五年

双子の孫
石丸乾二



新聞ちぎり絵「新婦人 60 周年」松倉徳子



田添紀江



山は毎日色をかえ、私達は庭の手入れ、畑仕事に追われています
千野章夫・久子



水仙が開花 小田政満



春を告げる 小川祥江



東京・若洲公園 岡村和夫

ホームページをご覧ください。毎月更新しています



ホームページはこちらからも見られます。



埼玉民医連退職者の会 〒333 - 1111 川口市木曾呂 1347 老健みぬま内